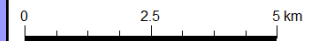
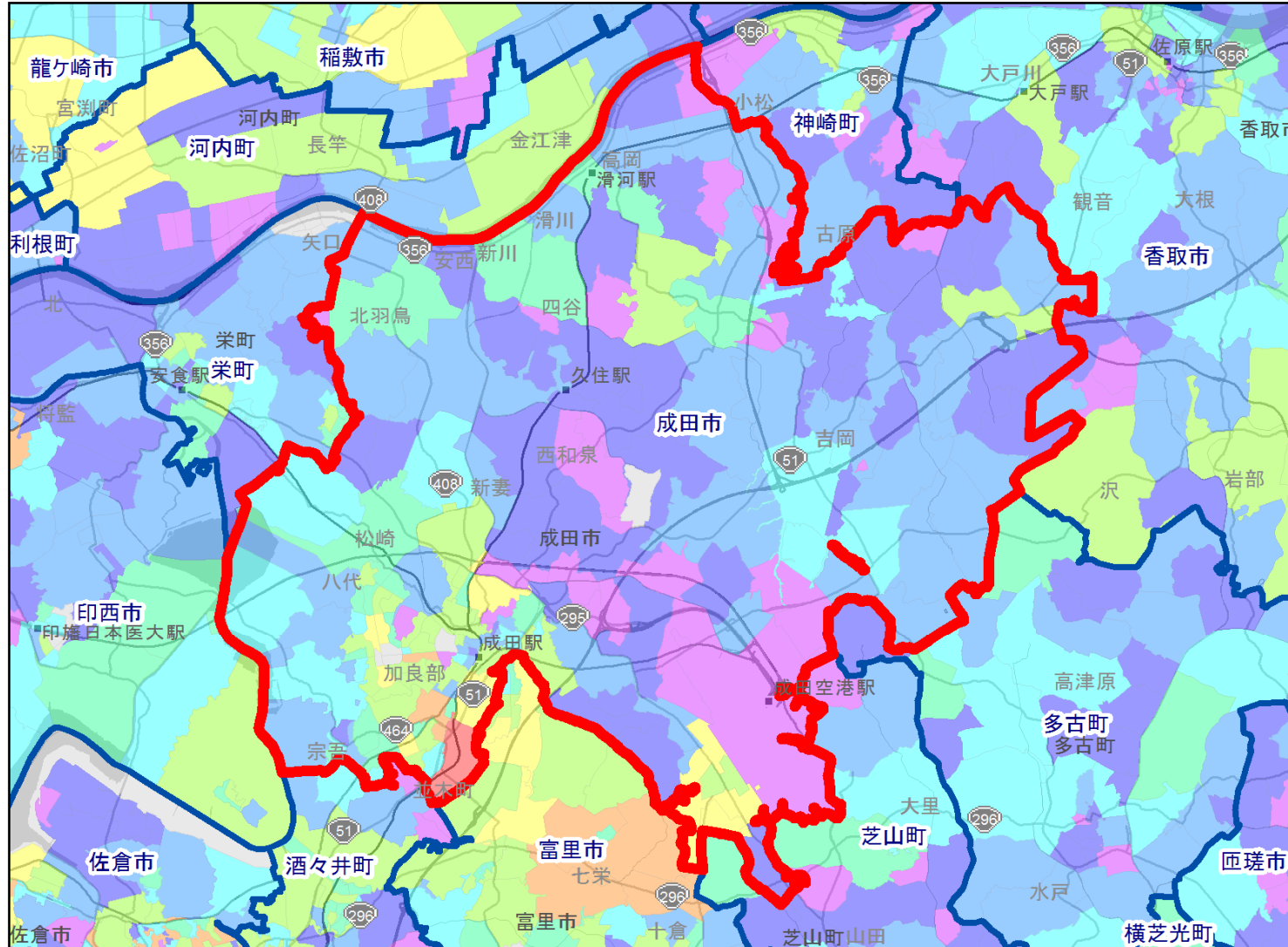


# 1. 商圈地図\_成田市



# 1. 商圈特性データ

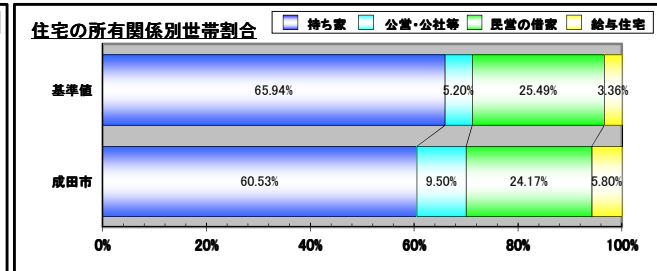
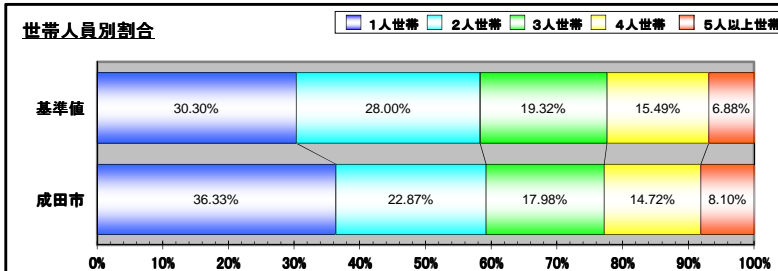
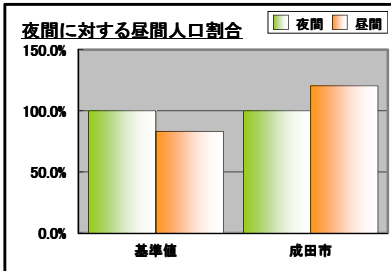
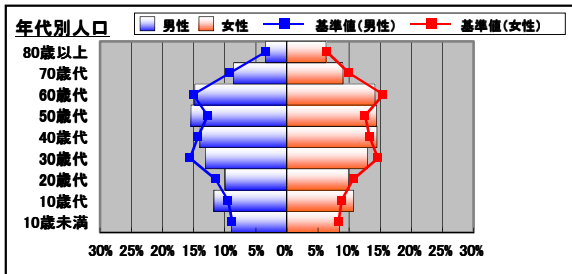
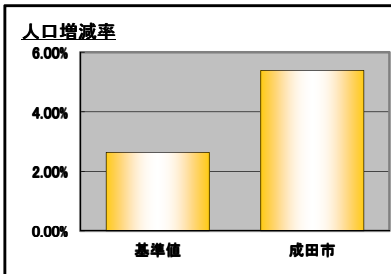
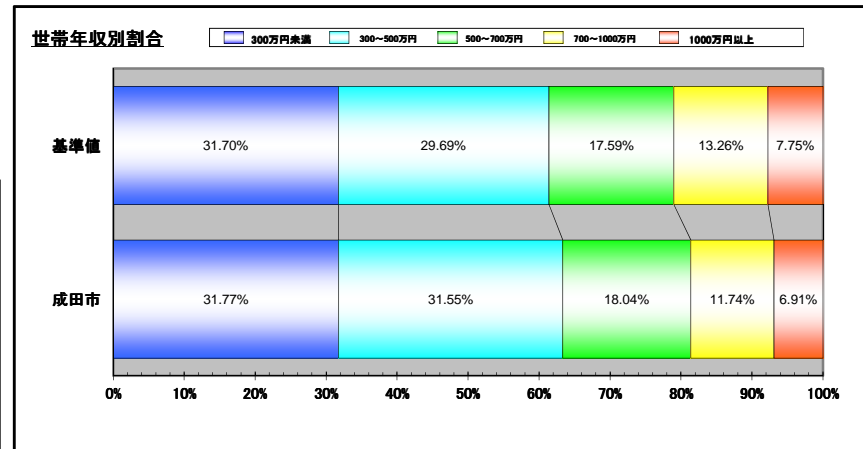
商圈	人口総数			年代別人口								人口増減数 (H17-H22)	昼間人口	
	総数	男	女	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代			80歳以上
基準値 (千葉県)	6,216,289	3,098,139	3,118,150	523,603 (8.54%)	559,451 (9.13%)	677,057 (11.05%)	923,992 (15.08%)	843,724 (13.77%)	775,561 (12.65%)	934,677 (15.25%)	587,935 (9.59%)	302,826 (4.94%)	159,827 (2.64%)	5,174,525 (83.24%)
成田市	129,824	65,277	64,547	12,283 (9.53%)	11,744 (9.11%)	18,495 (14.35%)	20,526 (15.93%)	16,488 (12.80%)	16,976 (13.18%)	16,337 (12.68%)	9,709 (7.54%)	6,289 (4.88%)	6,643 (5.39%)	156,311 (120.40%)

商圈	世帯数						住宅の所有関係別世帯数				住宅の建て方別世帯数		
	総数	1人世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人以上	持ち家世帯	公営・公社等	民営の借家	給与住宅	一戸建て	長屋建て	共同住宅
基準値 (千葉県)	2,512,441	761,231 (30.30%)	703,490 (28.00%)	485,529 (19.32%)	389,270 (15.49%)	172,921 (6.88%)	1,607,089 (65.94%)	126,793 (5.20%)	621,204 (25.49%)	81,991 (3.36%)	1,323,002 (54.36%)	39,835 (1.64%)	1,070,984 (44.00%)
成田市	52,990	19,249 (36.33%)	12,119 (22.87%)	9,528 (17.98%)	7,800 (14.72%)	4,293 (8.10%)	29,524 (60.53%)	4,632 (9.50%)	11,791 (24.17%)	2,830 (5.80%)	25,720 (52.47%)	953 (1.94%)	22,346 (45.59%)

商圈	世帯年収					
	総数	300万円未満	300~500万円	500~700万円	700~1000万円	1000万円以上
基準値 (千葉県)	2,512,441	796,504 (31.70%)	745,936 (29.69%)	441,963 (17.59%)	333,215 (13.26%)	194,824 (7.75%)
成田市	52,682 ※	16,736 (31.77%)	16,619 (31.55%)	9,502 (18.04%)	6,187 (11.74%)	3,638 (6.91%)

※年収はH25年取別推計世帯数より算出。

★各割合の赤字は基準値を上回っている、青字は下回っている事を示します。



## 2. ポイントまとめ 成田市

---

### 1、全体特性を一言で表すと……

# マイホーム購入前の子育て世代が多いエリア

## 2、データ分析

### 1)年代

10歳未満、20歳代、30歳代、50歳代が、基準値より多い。10歳代、40歳代、60歳以上は基準値以下。  
→子育て家族が多い。

### 2)昼間人口

基準値よりも37.16%高い。  
→成田市内に通勤・通学している方が非常に多い。

### 3)持ち家？賃貸？

持ち家世帯が基準値より5.41%低い。  
→持ち家世帯がやや少ない。

### 4)住宅の建て方

一戸建て世帯が基準値に比べ1.89%低い。  
→一戸建て世帯は平均的。

### 5)世帯年収

世帯年収300万未満、300～500万円、500～700万円が基準値より高い。700～1,000万円、1,000万円以上は基準値以下。  
→富裕層と呼ばれる世帯は少ないが、平均的な世帯年収が多い。

## 3、まとめ

比較的若い子育て家族が多いエリアです。まだ幼いお子さんが多いため、賃貸住宅に住んでいる方が基準値より5.42%高いです。また、人口増減率も基準値に比べ2.75%高いので、近年子育て中のファミリー層が移住してきている地域になります。子育てや教育に関するサービスや、一戸建て住宅の告知に向いている可能性があります。